**職　務　経　歴　書　（サンプル）**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成28年8月24日現在

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　○○ ○○

* **職務要約**

大学を卒業後、一貫してシステム開発の仕事に携わっています。

前職（新卒で入社した会社）では、プログラミングの基礎（プログラム設計の考え方、手順）などを、業務を通じて習得。現職では、それらの知識経験を活かして、上流工程を中心に担当。現在はプロジェクトリーダーとして、メンバー数12名・100人月規模のプロジェクト管理を担当しています。

**※これまでに培われたご経験の要訳を、3～5行程度でご記入ください。**

**企業担当者の目に最初に触れる部分になりますので、アピールをしたい経験を中心にまとめてください。**

* **活かせる知識・経験**

－AWSプラットフォームで稼働するアプリケーション開発・インスタンスの設計／構築の経験（約1年）

－製造業に関する業務知識（生産管理・物流管理・在庫管理など）

－プロジェクトマネジメントの経験・実績（メンバー数12名・100人月規模のプロジェクト管理経験あり）

－データベースのチューニング技術

**特にアピールしたいことを、最初にあげておくと、効果的です。**

**ただし、この部分では「アピールすることは、3～6個程度までにとどめる」のがポイントです。たくさん書きすぎると、かえって読み手の印象に残りにくくなりますから、ご注意ください。**

－○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

－○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

**企業は、「より最近の経験内容」に注目する傾向があります。**

**ですから、新しい経歴から順にさかのぼる形で、記載なさってください。**

* **職務経歴**

**株式会社YYYシステムコンサルティング** （20xx年xx月～現在）

　事業内容：製造分野を中心としたシステム開発

　資本金：6000万円　売上高：9億5000万円（○○○○年3月期）　従業員数：520名

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 期間 | 担当プロジェクト | プロジェクト概要・担当業務 | 環境/ツール | メンバー/役割 |
| 20xx年xx月～現在 | 自動車部品メーカー：生産管理システム開発プロジェクト | 要件定義、基本設計、プロジェクト管理、顧客対応約12万種類の自動車部品の生産管理を行うシステムの開発を担当。プロジェクトの責任者として、顧客対応・要件定義などはもとより、プロジェクトのコスト管理、品質管理も行いました。 | UNIX（Solaris）Windows 7C++Oracle | メンバー数：12名プロジェクトリーダー |
|
|
| 20xx年xx月～20xx年xx月 | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ | ○○○、○○○○、○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ | ○○○○○○○○○○○○ | メンバー数：12名サブリーダー |
|
|
| 20xx年xx月～20xx年xx月 | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ | ○○○、○○○○、○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ | ○○○○○○○○○○○○ | メンバー数：2名主任エンジニア |
|
|

 ※上記のほか、延べ○件のプロジェクトに参加しました（○～○人月、開発期間○～○ヶ月が中心）。

**経験したプロジェクトが多い場合は、主なプロジェクトのみ詳細を記載し、参加件数・工数・開発期間の概要を書き添えておきましょう。**

**株式会社ZZZエンジニアリング**  （20xx年xx月～20xx年xx月）

　事業内容：システムの受託開発

　資本金：1億5000万円　売上高：20億円（○○○○年3月期）　従業員数：8000名

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 期間 | 担当プロジェクト | プロジェクト概要・担当業務 | 環境/ツール | メンバー/役割 |
| 20xx年xx月～20xx年xx月 | 流通業向け：物流管理システムの追加プログラム開発（延べ7件） | 詳細設計、プログラミング、テスト（単体、結合）初めて参加した開発案件です。自分勝手な判断をしないよう、リーダーとの報連相を密に行うことを、心がけました。 | Windows 7C++ | メンバー数：5名メンバークラス |
|
|
| 20xx年xx月～20xx年xx月 | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ | ○○○、○○○○、○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ | ○○○○○○○○○○○○ | メンバー数：5名メンバークラス |
|
|

* **習得技術**

[OS]　Windows、UNIX（Solaris）、Limux（Ubuntu）、○○○○○

 インストール、設定、コマンド操作が可能です

**技術的なスキルについて、このように箇条書きでまとめておくと、読み手の理解を促しやすくなります。**

[言語]　JAVA、JAVAScript、VC++、VC#、Python、○○○

 Pythonは独学ですが、簡単なソースコードを書くことが可能です

[DB]　Oracle、MySQL、○○○

 JAVA＋Oracle、JAVA＋MySQL 環境でのアプリケーション開発が可能です

[その他] AWS（EC2、RDS）、HP Software and Solutions、Eclipse、Visual Studio、Tomcat、○○○

 AWSはインスタンス構築からアプリ開発まで一連の経験があります

* **資格・スキル**

**資格名称は、正式名称で記載しましょう。**

**取得資格が多い場合は、仕事に関連する資格を抜粋して記載してください。**

**ベンダー資格は、更新していない場合にも記載しておきましょう。**

基本情報技術者（○○○○年○○月）

Oracle Master Silver（○○○○年○○月）

普通自動車運転免許（○○○○年○○月）

* **実績**

・延べ○件のシステム開発に参加、年間約○○○○万円の売り上げ（プロジェクト受注金額）

・プロジェクトリーダーとして、3件のプロジェクトを完遂。納期遵守率100％、コスト遵守率100％の成果を残しています。

・新規取引となる、大手自動車部品メーカーとの商談において、技術担当として営業活動を支援。

○○について効果的なアピールを行い、○社が競合する中、受注を取り付けることに貢献しました。

* **自己ＰＲ**

あまり、限定せずに簡潔に！

プロジェクトが成功するかどうかは、「システムを導入することで、お客様の仕事はどう変化するかを、具体的に把握する」ことが一番のポイントだと考えています。この点について理解が深ければ、現場の協力を得られやすく、また追加開発が必要な場合は、なぜ必要かをお客様に十分説明することができます。また、お客様側で具体的な成果があがれば、新しい開発案件の引き合いなどもいただけます。

そのために取り組んでいることは、○○○○○○や○○○○○○などです。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

今後は、この経験を活かして、貴社の得意とする○○○の開発プロジェクトにおいて、さらにプロジェクトマネジメントスキルを高めていきたいと考えております。個人としてはもちろんのこと、部門を越えて、より多くのメンバーとコラボレートすることで、会社全体の生産性も向上させていきたいと思います。

以上

**自己PRでは、「仕事をする上で心がけていること」「取り組んでいること」「今後取り組みたいこと」などについてアピールしておくと効果的です。**